

見本市展示会通信

No. 738

The Japan Exhibition News

展示会とMICE
Webサイトwww.eventbiz.net
ビーオービー

向かって初開催へ

語った。

わらに展示会概要説明では、主催のJTBコミュニケーションデザイン取締役、松井高広氏が登壇し、「同時開催展とは相互入場を予定しており、相乗効果を図りたい。ハードとシステムのすり合わせと、モノからコトへのスマート社会を実現

することが狙いだ」と話した。

また同展は「電子機器トータルソリューション展」(主催・日本電子回路工業会)と「スマートコミュニケーション」(主催・日刊工業新聞社)を同時開催し、東1ホールから8ホールまで東全館を利用し開催する。

現在、出展者を募集中で、出展料金は1小間(3m×3m)35万円(税別)。なお、早期割引も行なつている(12月29日までに申込む場合)。出展申込締切は2017年2月28日まで。

その他、詳細は事務局(☎

03-5657-0771)まで問い合わせること。

オーガニック商品一堂に

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン(徳江倫明会長)は「Organic Forum Japan(オーガニックフォーラム)」(オーガニックスタイルEXPO)を、11月18日と19日の2日間、東京国際フォーラムで初開催する。

オーガニックの歴史は100年におよび、今後は真に持続可能な農業と消費のあり方が求められるようになる。東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準「フードビジョン」でも、ロンドン、リオに続いてより一層、多様性と調和に配慮した飲食提供が求められるようになることなどが決定した。同展は「オーガニック」をキーワードに心と体に心地よいライフスタイル提案する、生活全体を対象と



したB to B to Cの展示会で、飲食料品分野からエシカル・オーガニックコスメ、繊維製品、生活雑貨までの幅広いオーガニック商品が一堂に会する。

展示ホール内では「味(ajiwau)」「育(hagukumi)」「纏(matou)」「磨(migaku)」「癒(iyasu)」「暮(kurasu)」「守(mamoru)」「活(ikasu)」の出展カタゴリー表示で分類し、地上スペースでは新規就農者をはじめとする生産者のためのマルシェテントが立ち並ぶ。主催者企画のテーマゾーンには、これから畜産の

あり方として注目される「アニマルウェルフェア(動物福祉)」や、有機農業の要となる「種」に焦点を当て、全国から関連企業や情報が集結。キッチンスタジオではこれらに関する食材を味わう関連イベントも開催する。

予定小間数は早い段階で埋まり、現在はキヤンセル待ちの状態であることから、オーガニック市場の期待の高さがうかがえる。次回は来年7月29日、30日に、東京国際フォーラム展示会場にて開催する。

入場料は1,000円(税込)で前登録で無料。その他詳細は公式ホームページ(<http://ojf.or.jp/>)にて。

HIBINO
hibino group

total lease collection
Rental Communication

